

EnSight 補足資料

パート選択コマンド

サイバネットシステム株式会社

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

はじめに

本テキストでは、自動処理のためのスクリプトを作成する上で欠かす事のできないパートの選択コマンドについて説明します。パートの選択は、ID以外にも、パート名(ワイルドカード*を含む)、ケース、作成タイミング、表示/非表示等の様々な基準で選択することができます。

また、コマンドもEnSightのネイティブコマンド(文中では単に“コマンド”と表記)、及びPython形式の2種を掲載しています。

目次：

- 全てのパートを選択
- 選択されたケース下の全てのパートを選択
- パートIDで選択
- パート名で選択
- パート名で選択 (ワイルドカード指定)
- 一番最後に作成されたパートを選択
- 一番最後に作成されたパート(複数)を選択
- 表示状態のパートを選択
- 非表示状態のパートを選択

全てのパートを選択

コマンド: `part: select_all`

Python: `ensight.part.select_all()`

説明: パートリストにある全てのパートを選択します。

パラメータ: なし

サンプル: (コマンド)

```
part: select_all
part: colorby_rgb 1.0 1.0 1.0
```

(Python)

```
ensight.part.select_all()
ensight.part.colorby_rgb( 1.0, 1.0, 1.0 )
```



全てのパートを白色(R:1.0, G:1.0, B:1.0)で着色します。

選択されたケース下の全てのパートを選択

コマンド : `part: select_all_case`

Python : `ensight.part.select_all_case()`

説明 : 選択されているケースに属する全てのパートを選択します。

パラメータ : なし

サンプル : (コマンド)

```
case: select Case 2
part: select_all_case
```

(Python)

```
ensight.case.select( 'Case 2' )
ensight.part.select_all_case()
```



2番目のケースに属する全てのパートを選択します。

パートIDで選択

コマンド :
part: select_begin,
part: select_end

Python :
ensight.part.select_begin()

説明 :
指定されたパートIDに適合するパートを選択します。
パートIDの複数指定による複数選択が可能です。

パラメータ :
パートID (整数(≥ 0)), 複数指定の場合はスペース(Pythonはカンマ)で区切ります。
Pythonの場合は、リスト形式の利用も可能です。

サンプル : (コマンド)

```
part: select_begin  
      15 16 102  
part: select_end
```

(Python)

```
ensight.part.select_begin( 15, 16, 102 )
```



ID番号 = 15, 16, 102 のパート 3点を選択します。

パート名で選択

コマンド : part: select_byname_begin,
 part: select_byname_end

Python : ensight.part.select_byname_begin()

説明 : 指定された文字列と合致する名前を持つパートを選択します。
 パート名の複数指定による複数選択が可能です。

パラメータ : 文字列、複数指定の場合はスペース(Pythonはカンマ)で区切ります。
 Pythonの場合は、リスト形式の利用も可能です。

サンプル : (コマンド)

```
part: select_byname_begin
      "Fluid_domain" "Inlet"
part: select_byname_end
```

(Python)

```
ensight.part.select_byname_begin( "Fluid_domain", "Inlet" )
```



パート名が Fluid domain、及び Inlet のパートを選択します。

パート名で選択 (ワイルドカード指定)

コマンド :
part: select_byexpr_begin,
part: select_byexpr_end

Python :
ensight.part.select_byexpr_begin()

説明 :
指定された文字列の条件と合致する名前を持つパートを選択します。
条件に合致する複数のパートを選択することができます。

パラメータ :
文字列 (*が1つ以上必要)、複数指定の場合はスペース(Pythonはカンマ)で区切ります。
Pythonの場合は、リスト形式の利用も可能です。

サンプル : (コマンド)

```
part: select_byexpr_begin  
"boundary_*" "Inlet_*"  
part: select_byexpr_end
```

(Python)

```
ensight.part.select_byexpr_begin( "boundary_*", "Inlet_*" )
```



パート名の頭に文字列 boundary_、もしくは Inlet_ を含む
全てのパートを選択します。

一番最後に作成されたパートを選択

コマンド : `part: select_lastonecreated`

Python : `ensight.part.select_lastonecreated()`

説明 : 一番最後に生成されたパートを選択します。
唯一つのパートだけが選択されます。

パラメータ : なし

サンプル : (コマンド)

```
<前略>
isos: number_to_create 3
isos: end
isos: create
part: select_lastonecreated
```

(Python)

```
<前略>
ensight.isos.number_to_create( 3 )
ensight.isos.end()
ensight.isos.create()
ensight.part.select_lastonecreated()
```



選択コマンド直前に生成された等値面パート3つの内、一番下のパートを選択します。

一番最後に作成されたパート(複数)を選択

コマンド : `part: select_lastcreatedpart`

Python : `ensight.part.select_lastcreatedpart()`

説明 : 一番最後に生成されたパートを選択します。
複数等値面などでは、複数のパートが選択されます。

パラメータ : なし

サンプル : (コマンド)

```
<前略>
isos: number_to_create 3
isos: end
isos: create
part: select_lastcreated
```

(Python)

```
<前略>
ensight.isos.number_to_create( 3 )
ensight.isos.end()
ensight.isos.create()
ensight.part.select_lastcreated()
```



選択コマンド直前に生成された等値面パート3つを選択します。

表示状態のパートを選択

コマンド : `part: select_visible`

Python : `ensight.part.select_visible()`

説明 : パート属性の[表示](ビュー)が表示状態のパートを選択します。

パラメータ : なし

サンプル : (コマンド)

```
part: select_all
part: visible OFF
part: select_byname_begin
      "domain5" "outlet"
part: select_byname_end
part: visible ON
part: select_visible
```

(Python)

```
ensight.part.select_all()
ensight.part.visible( "OFF" )
ensight.part.select_byname_begin( "domain5", "outlet" )
ensight.part.visible( "ON" )
ensight.part.select_visible()
```



最初に全てのパートが非表示状態にされ、その後に名前が domain5 と outlet のパートのみが表示状態に設定されます。従って上記の選択操作では domain5 と outlet のみが選択されます。

非表示状態のパートを選択

コマンド : `part: select_invisible`

Python : `ensight.part.select_invisible()`

説明 : パート属性の[表示](ビュー)が非表示状態のパートを選択します。

パラメータ : なし

サンプル : (コマンド)

```
part: select_all
part: visible ON
part: select_byname_begin
      "domain5" "outlet"
part: select_byname_end
part: visible OFF
part: select_invisible
```

(Python)

```
ensight.part.select_all()
ensight.part.visible( "ON" )
ensight.part.select_byname_begin( "domain5", "outlet" )
ensight.part.visible( "OFF" )
ensight.part.select_invisible()
```



最初に全てのパートが表示状態にされ、その後に名前が domain5 と outlet のパートのみが非表示状態に設定されます。従って上記の選択操作では domain5 と outlet のみが選択されます。

ご利用上の注意：

本書中の解説、及び、図、表は文書による許可なしに、その全体または一部を無断で使用、複製することはできません。

このドキュメントに記載されている事柄は、将来予告無しに変更される事があります。なお、サイバネットでは記載内容に関して正確であることに努めていますが、本書の利用に関して生じた損害については法律上のいかなる責任も負いません。

EnSight は米国 CEI 社の商標です。
上記以外の製品名も一般に開発各社の商標、あるいは登録商標です。

サイバネットシステム株式会社